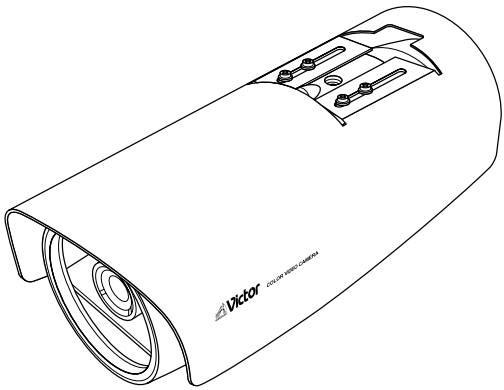
カラービデオカメラ

型名 TK-S810

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0363-001A

もくじ

はじめに

もくじ 2
特長 3
安全に関するご注意 4
正しくご使用いただくためのご注意 5
各部の名称とはたらき 6
表面 6
裏面 7
リアカバー 9
レンズ部 10

接続・設定

システム例 12
CCU(カメラコントロールユニット) のシステム 12
DC12V のシステム 13
接続から設定までの手順 14
カメラを取り付ける 15
カバーをはずす 16
フロントカバーをはずす 16
リアカバーをはずす 16
ケーブルを接続する 17
ケーブルの通し方 17
DC12V 電源ケーブルの接続 18
同軸ケーブルの接続 18
スイッチを設定する 19
電源供給切換スイッチ 19
シャッタースピード切換スイッチ 19
ケーブル長設定スイッチ 20
カメラを調節する 21
テストモニターを取り付ける 21
画角・フォーカス・明るさを調節する 21
ローテーションの調節 22
カメラの角度を調節する 22
サンシェードを調節する 23
カバーを取り付ける 24
乾燥剤を入れる 24
カバーを取り付ける 24

その他

保証とアフターサービス 25
仕様 26

- 大切な撮像の場合は必ず、事前に動作確認をしてください。
- ビデオカメラ、VTR、ハードディスクレコーダーまたは、ビデオテープなどの使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。
- 画角を調節する前に、本体側面の [MONITOR OUT] 端子近くにある金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 ：操作上の注意が書かれています。

メモ ：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ ：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

特長

■ 防水性・耐候型筐体の採用

防塵・防滴構造で、雨の影響も受けないため、直接屋外に設置することができます。
JISC0920 準拠（IP65 仕様）

■ 高画質の実現

38 万画素、高感度 CCD と高解像処理回路の採用で、540TV 本、S/N 50dB を実現しました。

■ 高倍率バリフォーカルレンズ搭載

光学 3.6 倍バリフォーカルレンズ内蔵によって、より細かな監視が行えます。

■ 簡易 DAY & NIGHT 機能搭載

被写体の明るさが暗くなった場合、自動的に白黒映像に切り換える、簡易 DAY & NIGHT 機能の設定ができ、暗いときの監視に役立ちます。

■ ビデオ信号出力システムに対応

ビデオ信号を直接カメラから出力するので、CCU（カメラコントロールユニット）を使用しないシステムを組むことも可能です。

安全に関するご注意

⚠警告
十分な強度を持った場所に取り付ける 振動や本機質量（約 1.8 ｋｇ）などを考慮し、十分な強度を持った場所に取り付けてください。 補強やねじ・ナットの締めつけが不十分な場合は、振動のためモニター上で画ブレが発生したり、最悪の場合落下し、下に人がいた場合、重大な事故となる危険があります。
専用の取付金具で正しく取り付ける 必ず専用の取付金具 WB-3018 を使用してください。 落下防止ワイヤーは必ず接続し、取付ねじやナットはきちんと締め付けてください。
正しい電源、電圧で使用する 本機の電源は、専用 CCU からの供給、もしくは DC12 V となっています。 定格を超えた電源を供給すると故障や発煙、発火のおそれがあります。特に AC24 V を誤って入力しないようにご注意ください。
本機は、本機自身や接続ケーブルへの誘雷に対しある程度の対応はしておりますが、万全ではありません。落雷の被害が考えられる取付場所では、必ず接続ケーブルにアレスターを追加するなどの対応をとってください

⚠注意
本機を設置する場合は、専門技術が必要となりますので、販売店にご依頼ください。 取り付けねじやナットでの締め付けが不確実だと落下する恐れがありますので確実に締め付けてください。
設置説明に従わない不完全な取り付けによって、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねます。設置は十分に注意して行なってください。
定期的に点検する 取付部の劣化や振動によるねじのゆるみを定期的に点検し、落下の危険がないことを確認してください。
本機の付近に照明を設置するときは、照明の発熱が本機に影響をおよぼさないようにご注意ください。

正しくご使用いただくための ご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かない

  誤動作や故障の原因となります
  - 使用周囲温度 (-10 ℃～ 50 ℃) 範囲外の暑いところや寒いところ
  - 許容動作湿度（20%～ 85%）範囲外の湿気の多いところ（結露なきこと）
  - 変圧器やモーターなど強い磁器を発生するところ
  - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
  - ほこりや砂の多いところ
  - 振動の激しいところ
  - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
  - 厨房など蒸気や油分の多いところ
  - 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ
- 冷気があたる場所やエアコンの噴出口の近など、急激な温度変化のある場所に設置すると、フロントカバーのガラスがくもる場合があるので、避けてください。
- 本機は IP65 準拠ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保障しているものではありません。
- 本機および本機に接線したケーブルが強い電波や磁気の発生するところ（例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く）で使用された場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- トランシーバーなどを使用する場合は、本機から 5m 以上はなれてお使いください。

お手入れについて

- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- フロントカバーのガラスは、レンズふき用布（または柔らかい布）を使用して汚れをふきとってください。

  シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

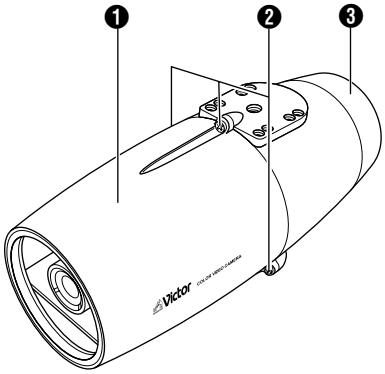
- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

その他

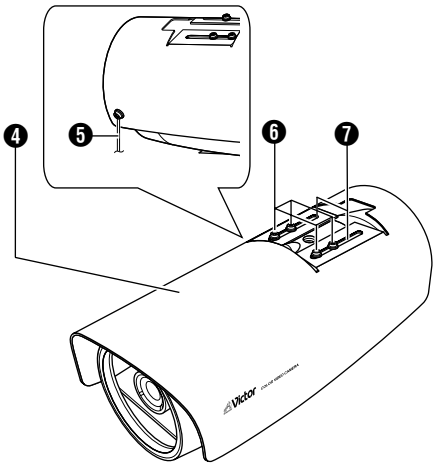
- 本機は AGC 回路内蔵のため、AGC ON で使用したとき、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- AGC が動作中、トランシーバーなど強い磁気を発生する機器を本機の近くで使用すると、画像にビートなどが発生することがあります。
- 本機をホワイトバランス ＡＴＷ(自動追尾)で使用したとき、被写体の状況により、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なることがありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体（ランプなど）を撮影した時、画面上の画像に垂直線が表示される現象（スミア現象）や高輝度の被写体周辺ににじみ(ブルーミング現象）などの現象が現れます。これは CCD の特徴で故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時、1/60 に設定しています。商用電源周波数 50 Hz の地域で蛍光灯照明下（インバーター照明器は除く）では 1/100 に切り換えてご使用ください。(1/100 の時、感度が少し下がります。)
- 簡易 DAY & NIGHT 入切スイッチを"ON"にすると、暗い場所では白黒映像となります。この時、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。またカラー映像と白黒映像の切り換わり時に画面の明るい部分が強調され、見えにくくなることがありますが、故障ではありません。
- 落雷やエアコンの電源投入などによって、電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- カメラの電源電圧が低下すると、カメラ内部の入力保護回路が動作して、カメラの電源が切れることがあります。CCU からの電源電圧は、定格電圧の -10 %以内でご使用ください。
- 本機を寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温に 1 時間程度放置した後、電源を入れてください。
- フロントカバーのガラスのくもりを予防するため、ファンユニット（別売：KA-ZF850）の組込みをおすすめします。(☞ 8 ページ)

各部の名称とはたらき

表面



〈サンシェードなし〉



〈サンシェードあり〉

❶ フロントカバー

レンズの調節やスイッチ設定などを行うときは、このカバーをはずしてください。
(☞ 16 ページ)

❷ フロントカバー固定ねじ（3 本）

フロントカバーをはずすときは、このねじをゆるめてください。
(☞ 16 ページ)

ご注意:

- フロントカバーを取り付ける際は、3 か所のねじを仮止め後、増し締めを行なってください。ねじの締め付けは、0.5N・m ～ 1N・m (5 kgf・cm ～ 10 kgf・cm) をめやすにしてください。(☞ 24 ページ)

❸ リアカバー

映像出力や DC12V 電源と接続するきは、このカバーをはずしてください。
(☞ 16 ページ)

❹ サンシェード

炎天下での使用で、本機に直射日光が当たらないようにしたり、不要な光がレンズに入り乱反射しないようにします。
直接日光が当たる場合は、必ずサンシェードを取り付けてください。

❺ サンシェード落下防止ワイヤー

サンシェードが落下しないよう、本体と接続されています。

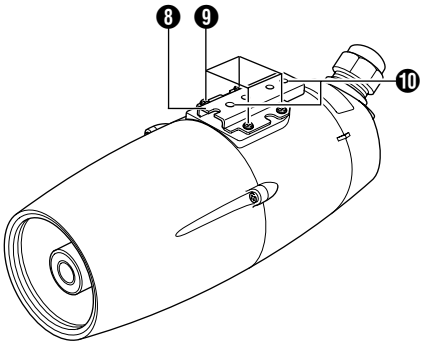
❻ サンシェード固定ねじ（4 本）

サンシェードを本体に固定するためのねじです。
(☞ 23 ページ)

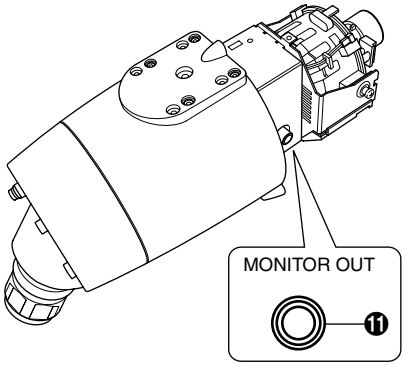
❼ サンシェード調節用穴

サンシェードを前後に移動させるための穴です。サンシェード固定ねじをゆるめて移動させます。
(☞ 23 ページ)

裏面



〈フロントカバーあり〉



〈フロントカバーなし〉

❽ トライポッドベース

出荷時、カメラ底面に取り付けられています。

❾ トライポッドベース取付ねじ（4 本）

トライポッドベースを取り付けるためのねじです。

❿ ウォールブラケット取付用ねじ穴（1/4-20UNC）

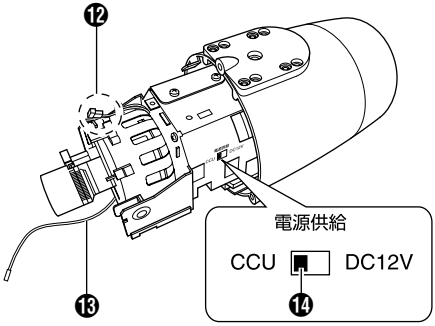
本機をウォールブラケットなどに取り付けるときに、このねじ穴を使用します。
添付の 1/4-20UNC 六角ボルトで固定してください。
(☞ 15 ページ)

⓫ [MONITOR OUT] モニター出力端子

カメラの映像やレンズの画角、フォーカス、明るさなどを調節する場合、一時的にテストモニターに接続します。
(☞ 21 ページ)

各部の名称とはたらき (つづき)

裏面 (つづき)



〈フロントカバーなし〉

⓬ ファンユニット接続ケーブル

くもり防止に、ファンユニット (別売 : KA-ZF850) を接続するためのケーブルです。

メモ:

- 取り付けの詳細につきましては、KA-ZF850 の「取扱説明書」をご覧ください。

⓭ フロントカバー落下防止ワイヤー

フロントカバーが落下しないように、本体と接続されています。

⓮ [CCU、DC12V] 電源供給切換スイッチ

使用する電源によって切り換えます。

CCU : CCU（カメラコントロールユニット）から電源を供給する場合に使用します。

DC12V : 電源入力端子から DC12V を供給する場合に使用します。

（出荷位置 : CCU）

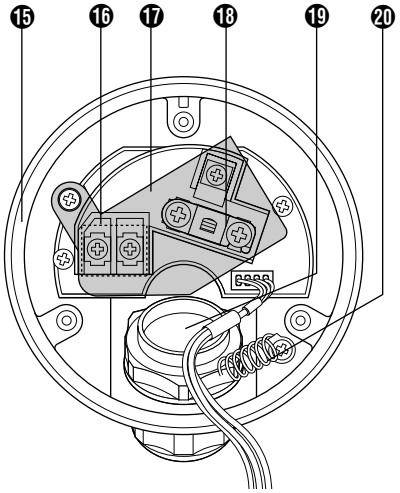
メモ:

- スイッチの切り換えは確実に行なってください。切り換えが不確実だと、映像が出ないことがあります。(☞ 19 ページ)

ご注意:

- CCU モードでは、DC12V を入力しないでください。誤動作します。

リアカバー



⓯ リアカバー

映像出力端子、DC12V 電源入力端子の接続を行うときは、このカバーをはずしてください。(☞ 16 ページ)

⓰ [DC12V] 電源入力端子

DC12V 電源を入力してください。DC12V 電源を使用するときは、⓮ 電源供給切換スイッチを“DC12V ”にしてください。(☞ 19 ページ)

メモ:

- 本機DC12VのGND端子は映像信号GNDと非絶縁タイプですので、1 台の DC12V 電源で複数台のカメラに電源を供給しないでください。また電源ケーブルは 30m 以下、抵抗値は 4Ω 以下（合計）を使用してください。

ご注意:

- [DC12V] 電源入力端子には AC24V を入力しないでください。

⓱ 端子カバー

リアパネルに接続したケーブルが、本体側リアパネルの端子やケーブルと誤って接触しないためのカバーです。(☞ 17 ページ)

⓲ [VIDEO OUT/TO CCU] 映像出力端子

カメラ映像を出力します。CCU（カメラコントロールユニット）などと接続します。

⓳ ケーブル通線孔

リアパネルの電源入力端子や映像出力端子に接続するケーブルを通します。(☞ 17 ページ)

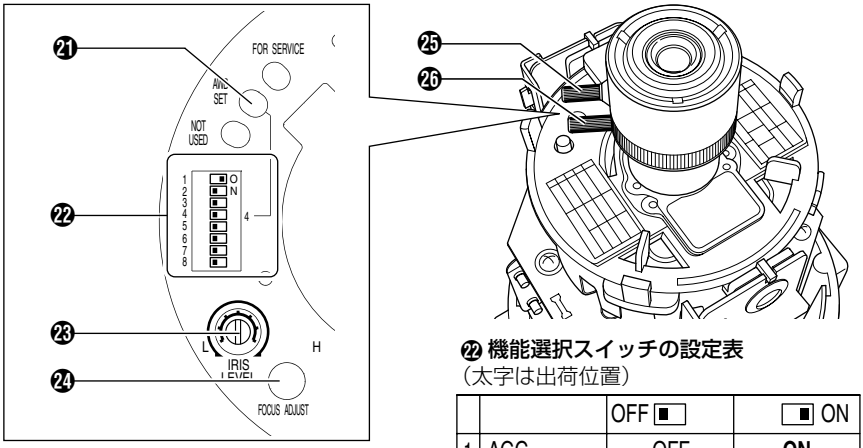
⓴ リアカバー落下防止ワイヤー

リアカバーが落下しないように、本体と接続されています。

各部の名称とはたらき (つづき)

レンズ部

スイッチ設定は、先の細いドライバーなどで行なってください。



㉒ 機能選択スイッチの設定表

（太字は出荷位置）

		OFF ■		■ ON
1	AGC	OFF		**ON**
2	CABLE	**SHORT**	MID	LONG
3	LENGTH	■ ■	■ ■	■ ■
4	WHT.BAL.	**ATW**		AWB
5	BLC	**OFF**		ON
6	DAY/NIGHT	**OFF**		ON
7	SHUTTER	**1/60**		1/100
8	RESERVED	■ **SET TO OFF**		

㉑ [AWB SET]

機能選択スイッチ ㉒ の 4[WHT.BAL.] 設定スイッチが “AWB” に設定されている場合に押すと、自動的にホワイトバランス調整をします。

㉒ 機能選択スイッチ

1 [AGC] 自動ゲイン入切スイッチ
“ON” にすると被写体の明るさが不足した場合でも自動的に感度が上がります。
(出荷位置：ON)

2、3 [CABLE LENGTH] ケーブル長設定スイッチ
本機と CCU(カメラコントロールユニット) 間を接続する同軸ケーブルの種類や長さによって、スイッチ設定します。
(☞ 20 ページ)
(出荷位置：SHORT)

ご注意:

- 使用ケーブルの種類や長さに合わせ、正しく設定しないと、同期乱れなど、画面不良となります。

4 [WHT.BAL.] ホワイトバランス設定スイッチ
ホワイトバランス調整機能の設定をします。

ATW：
自動色温度追尾モードになります。
照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。

AWB：
自動ホワイトバランス調整モードとなります。
映像を確認しながら [AWB SET] ボタン ㉑ を2秒以上押し続けてください。その時点のホワイトバランスに固定されます。
（出荷位置：ATW）

メモ：
- 本機のホワイトバランスは太陽光やハロゲンランプなどに合うよう設定されており、蛍光灯などの人工光に対しては、ホワイトバランスがとれない場合があります。
- AWB モード時、[AWB　SET] ボタン ㉑ を 2 秒以上押さずに途中で離したり、調整範囲外の色温度では正しくホワイトバランスがとれません。

5 [BLC] 逆光補正入切スイッチ
被写体が逆光状態のとき “ON” にするとレンズの絞りが約 1 絞り開き、被写体が見やすくなります。
（出荷位置：OFF）

6 [DAY/NIGHT] 簡易 DAY & NIGHT 入切スイッチ
昼と夜などのように照度が大きく変わる被写体を撮影する場合 “ON” に設定すると、照度が高い場合はカラー映像、低い場合は白黒映像に自動的に切り換わります。
（出荷位置：OFF）

ご注意：
- 本項目が “ON” に設定されている場合、機能選択スイッチ ㉒ の 1[AGC] スイッチの設定に関係なく、AGC 機能は “ON” となります。
- 白黒映像では、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。
- 本機の簡易 DAY & NIGHT 機能は、赤外線投光器などを併用する白黒暗視カメラとは異なり、白黒映像での感度アップ効果を活用した機能です。

7 [SHUTTER] 電子シャッター切換スイッチ
電子シャッターのスピードを切り換えます。
1/60　：通常はこの設定で使います。
1/100　：商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減します。（インバーター照明の場合は、1/60 に設定します。）
(☞ 19 ページ)
（出荷位置：1/60）

8 [RESERVED]
使用しません。必ず “OFF” に設定してご使用ください。
（出荷位置：OFF）

㉓ [IRIS LEVEL] 絞りレベル調節ボリューム

自動絞りレンズの絞りレベルを調節します。
通常は、調節する必要はありません。被写体の条件などにより必要な場合は調節します。

暗くする時：反時計方向（L 側）
明るくする時：時計方向（H 側）

メモ：
- 絞りのレベル調節は、機能選択スイッチ ㉒ の 1[AGC] スイッチを “OFF” に設定してから行なってください。
“OFF” に設定しない場合、L 側に回しすぎると AGC 機能が働き、感度が上がり画質がザラついた感じになります。

㉔ [FOCUS ADJUST] フォーカス調節ボタン

レンズのフォーカスを合わせるときに使用します。
押すと約 30 秒間レンズの絞りが開き、被写界深度が浅くなるためフォーカスが調節しやすくなります。(☞ 21 ページ)

メモ：
- フォーカス調節ボタンを押すと、電子シャッターが自動的にはたらくため、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

㉕ フォーカス調節リング

左右に動かし、フォーカスを調節します。
(☞ 21 ページ)

㉖ ズーム調節リング

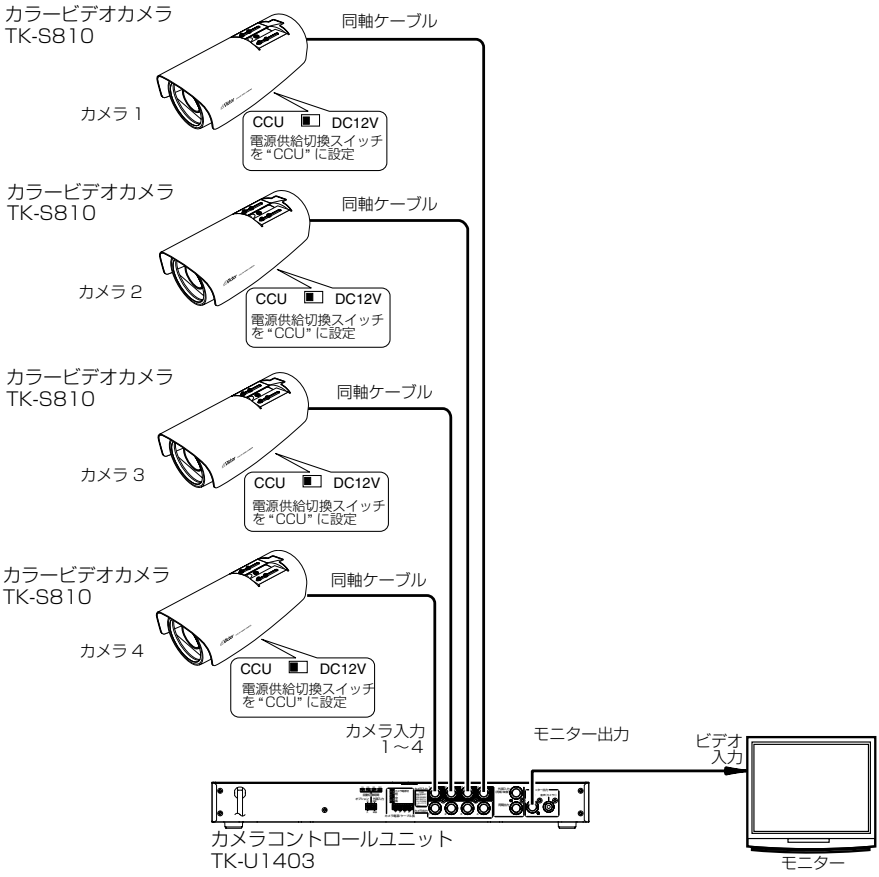
左右に動かし、画角を調節します。
(☞ 21 ページ)

システム例

CCU(カメラコントロールユニット）のシステム

カメラコントロールユニット（TK-U1403)1 台に、カメラ４台まで接続可能です。

- 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みの上、行なってください。



メモ:

- 本機と CCU（カメラコントロールユニット）間を接続する同軸ケーブルの距離によって、本機のケーブル長切換スイッチの設定が必要です。(☞ 20 ページ)
- 使用する CCU(カメラコントロールユニット)、同軸ケーブルにより最大延長距離は異なります。

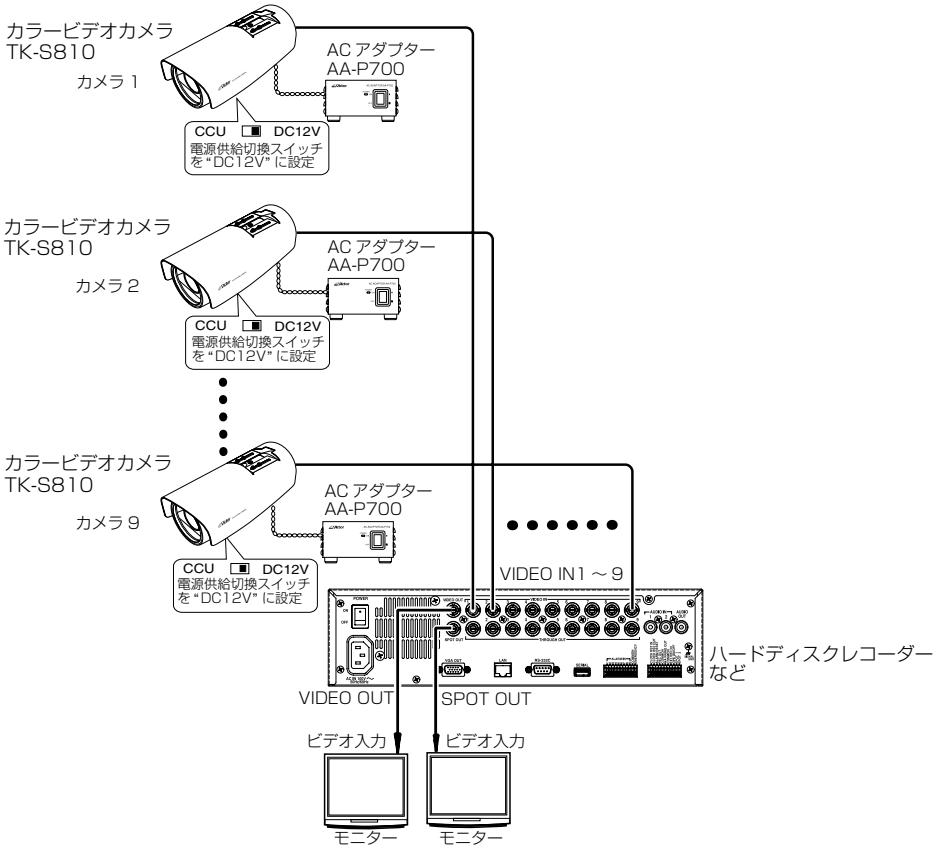
ご注意:

- 本機と CCU（カメラコントロールユニット）との間の接続ケーブルには電源、映像信号、同期信号などが通っていますので、ケーブル補償器、映像分配器など、ケーブルの途中に挿入して使用することはできません。
- CCU モードでは、DC12V を入力しないでください。誤動作します。

DC12V のシステム

AC アダプター AA-P700 から電源を供給するシステムです。

- 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みの上、行なってください。



メモ:

- 同軸ケーブルは 500m まで延長可能です。

接続から設定までの手順

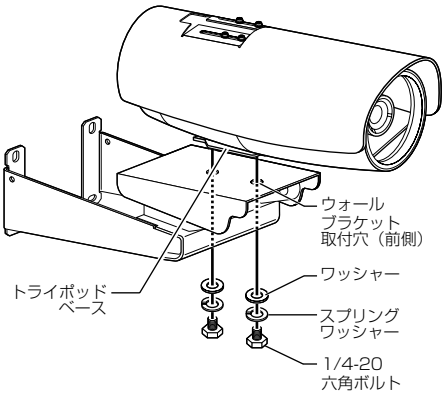
下記手順で接続・設定を行なってください。
接続は使用機器の電源を切ってから行なってください。

step 1	**カメラを取り付ける** **(☞ 15 ページ)** 本機を壁や天井に取り付けます。
▼	
step 2	**カバーをはずす** **(☞ 16 ページ)** フロントカバーとリアカバーを、本機からはずします。
▼	
step 3	**ケーブルを接続する** **(☞ 17 ページ)** リアパネルの端子にケーブルを接続します。
▼	
step 4	**スイッチを設定する** **(☞ 19 ページ)** 使用するシステムによって電源供給切換スイッチの設定を、またその他必要に応じて機能選択スイッチの設定をします。
▼	
step 5	**カメラを調節する** **(☞ 21 ページ)** カメラの角度、フォーカス、明るさなどを調節します。
▼	
step 6	**カバーを取り付ける** **(☞ 24 ページ)** フロントカバーの中にガラスのくもりを防止する乾燥剤を入れ、フロントカバー、リアカバーを取り付けます。

カメラを取り付ける

1. 本機をウォールブラケット（別売：WB-3018）の上に乗せる

2. 1/4-20UNC 六角ボルト（添付）をブケットの 2 か所の取付穴に下から取り付ける（前側の 2 か所）



■ トライポッドベースを上面に取り付ける場合

1. サンシェードを後ろへ下げる

2. トライポッドベースを底面からはずす
トライポッドベース取付ねじ 4 本はずします。

3. トライポッドベースを上面へ取り付ける
トライポッドベースをサンシェードの上から取り付けます。

⚠警告

- 壁または天井に取り付けるには、特別な注意が必要です。お客様による工事は避けて、必ず専門の工事業者にお任せください。本機が落下するとけがや事故の原因となります。
- 落下防止のため本機を強度の強いところ（天井スラブまたはチャンネル）と落下防止ワイヤーで接続してください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質（絶縁性）などにも十分注意してください。
- 落下防止ワイヤーの取り付けは、本機リアカバーのねじを利用してください。
- 落下防止ワイヤー取り付け時に使用するねじは、（M4 × 6mm）です。この長さより長いねじを使用すると内部を破損することがありますので、絶対に使用しないでください。

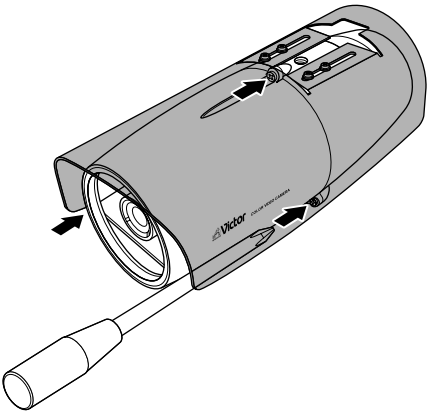
カバーをはずす

接続・設定の前に本機のカバーをはずします。

フロントカバーをはずす

1. **フロントカバーの横のねじを 2 か所と、上のねじを 1 か所ゆるめる**

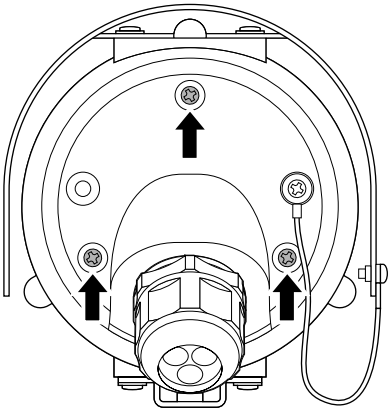
上記3か所のねじをドライバーでゆるめ、フロントカバーを手前に引くと、カバーがはずれます。



リアカバーをはずす

1. **リアカバーの 3 か所のねじをはずす**

リアカバーを手前に引くと、カバーがはずれます。



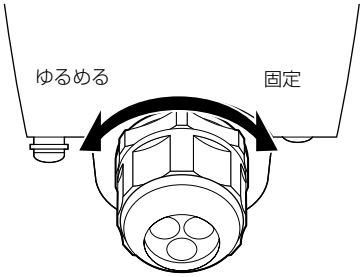
ご注意:

- リアカバー・フロントカバーを取りはずすときは、必ず落下防止ワイヤーを取り付けたままにしてください。カバーが落下すると、けがや事故の原因となります。

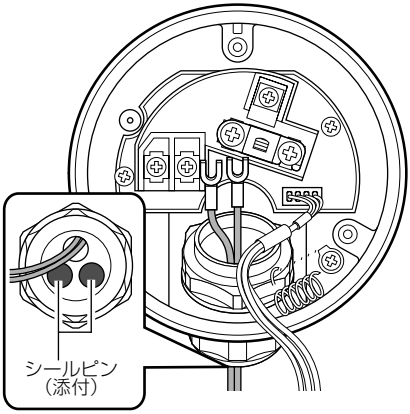
ケーブルを接続する

ケーブルの通し方

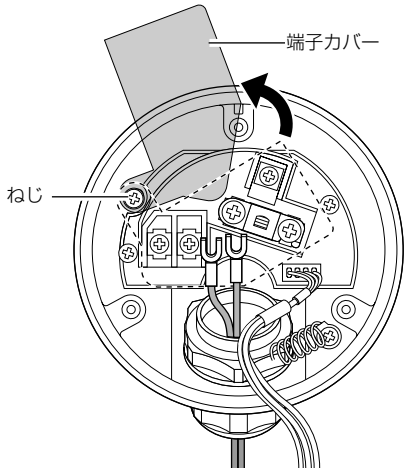
1. ケーブル通線孔を時計の反対方向に回しゆるめる



2. ケーブル通線孔の穴からケーブル通す



3. 端子カバーを止めているねじをゆるめ、端子カバーを外側に回す



4. ケーブルを接続する
システムに合わせてリアパネルの端子にケーブル類を接続します。
接続ケーブルには、下記があります。

- DC12V 電源ケーブル (☞ 18 ページ)
- 同軸ケーブル (☞ 18 ページ)

5. 端子カバーを元の位置に戻し、ねじを締める

6. ケーブル通線孔を時計周りに回し固定する
設置や設定が全て終わってから、固定してください。ケーブルの抜けや、水が入るのを防ぎます。

メモ:

- ケーブル通線孔のケーブル適合サイズは 3C-2V ～ 5C-2V です。
- 防塵・防水のため、シールテープなどでケーブル径を 8mm にそろえてお使いいただくか、シール材などで通線孔をふさいでください。

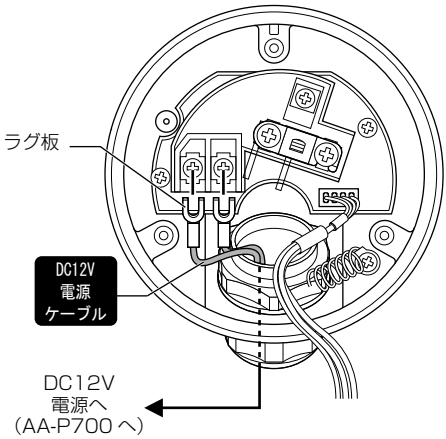
ケーブルを接続する（つづき）

DC12V 電源ケーブルの接続

ご使用のシステムに応じて、DC12V 電源ケーブルを電源入力端子に接続します。

ご注意：

- 誤ってAC24Vを入力しないようにしてください。誤って入力すると、故障します。



ご注意：

- [DC12V] 電源入力端子には、AC24V や AC100V を入力しないでください。
- DC12V 電源を接続するときは、＋－を正しく合わせてください。
- DC12V 電源はリップル電圧 50mV 以下のものをお使いください。
- 接続ミスやケーブルのはずれを防ぐため端子との接続にはラグ板の使用をお勧めします。本機 DC12V の GND 端子は、映像信号の GND と非絶縁タイプですので 1 台の DC12V 電源で複数台のカメラに電源を供給しないでください。また電源ケーブルは 30m 以下、抵抗値は 4Ω 以下（合計）を使用してください。

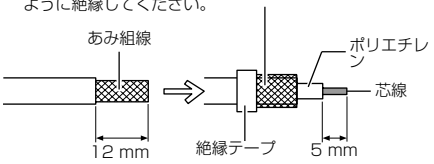
同軸ケーブルの接続

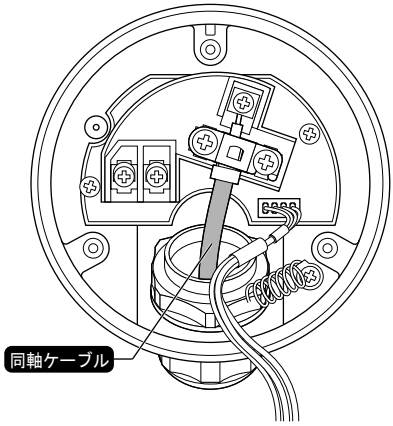
5C-2V あるいは 3C-2V 同軸ケーブルを接続します。

※ 7C-2V をご使用の場合、直接端子台への接続はできませんので、5C-2V ケーブルを本機に接続し 7C-2V ケーブルに中継してください。

- 同軸ケーブルの先端は、下図の様に処理してから接続してください。

※ あみ組線を逆に折り返し、ほつれて他へショートしないように絶縁してください。



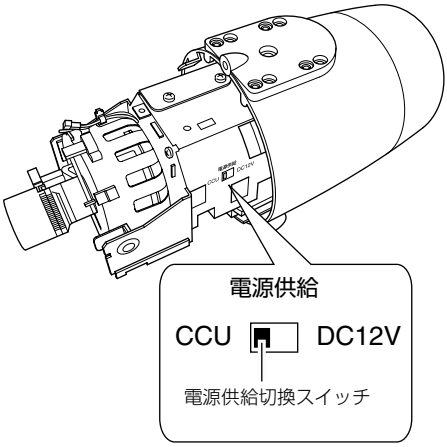


スイッチを設定する

スイッチの設定をします。設定は、使用するシステムにより異なります。
その他のスイッチ設定の詳細に関しては “ レンズ部 ” (☞10 ページ) をご覧ください。

電源供給切換スイッチ

使用する電源によって切り換えます。



CCU　：CCU(カメラコントロールユニット) から電源を供給する場合に使用します。

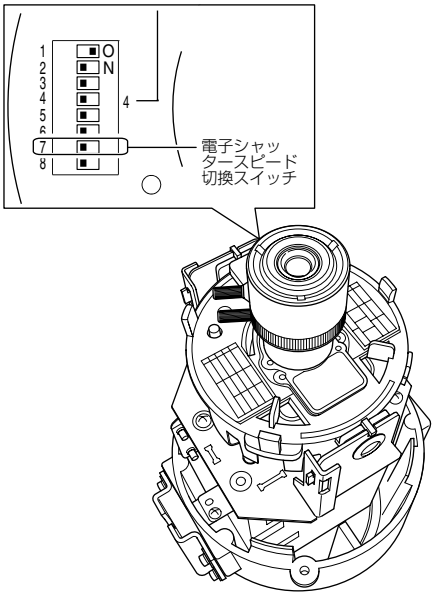
DC12V　：電源入力端子から DC12V を供給する場合に使用します。

(出荷位置：CCU)

メモ:

- スイッチの切り換えは確実に行なってください。切り換えが不確実だと、映像が出ないことがあります。

シャッタースピード切換スイッチ



1/60(▮□)　：通常はこの設定で使います。

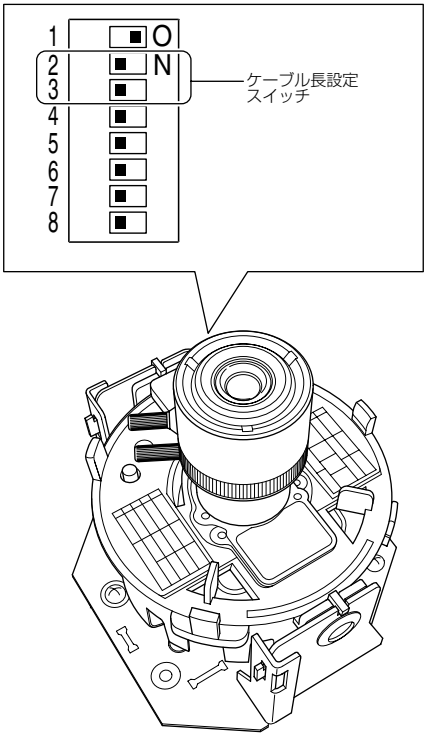
1/100(□▮)：商用電源周波数 50Hz 地域で蛍光灯照明の下で起こる、フリッカー現象を軽減します。
(出荷位置：1/60)

スイッチを設定する（つづき）

ケーブル長設定スイッチ

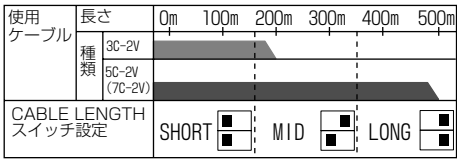
本機とカメラコントロールユニット（CCU）間を接続する同軸ケーブルの種類や長さによって設定します。

● 接続は、必ず使用機器の電源を切ってから行なってください。



スイッチ設定		ケーブルの長さ
SHORT	OFF ON	～ 165m
MID		165m ～ 333m
LONG		333m ～ 500m
設定不可		—

使用可能な同軸ケーブルの長さによる位相を補償するため、本機の機能選択スイッチの 2, 3 ケーブル長設定スイッチを、下図を参考に設定してください。



メモ:

- 使用ケーブルの種類により、使用可能な同軸ケーブルの長さが異なります。
- 使用可能な同軸ケーブルの長さは、接続するカメラコントロールユニット（CCU）の性能によって、上図の表より短くなる場合があります。詳しくは、カメラコントロールユニット（CCU）の「取扱説明書」をご覧ください。
- 7C-2V ケーブルは、端子台への直接接続はできません。5C-2V ケーブルを本機に接続し 7C-2V ケーブルに中継してください。

■ 参考

● 5C-FB ケーブル使用時の設定

5C-FB ケーブルを使用した場合、本機の機能選択スイッチのケーブル長設定スイッチ 2、3 (☞ 10 ページ) を以下の様に設定してください。

スイッチ設定		ケーブルの長さ
SHORT	OFF ON	～ 195 m
MID		195 m ～ 395 m
LONG		395 m ～ 500m
設定不可		—

● CCU 側のケーブル補償スイッチ設定

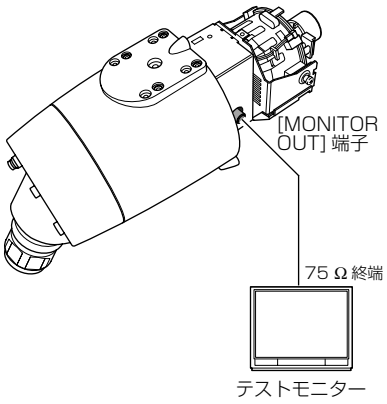
5C-FB の低損失ケーブルを 333m ～ 500m の長さでご使用になるとき、CCU 側の Cable Compensator(ケーブル補償) 設定スイッチまたはメニュー設定を “2” または “MID” に設定してください。
(CCU 側を “3” または “LONG” 設定でご使用になると、CCU 側のケーブル補償が過補償になり映像にノイズなどのミスクランプが発生する場合があります。)

カメラを調節する

カメラの調節を設置場所で行う場合、一時的にテストモニターに接続して、画面の映像を見ながら調節できます。

テストモニターを取り付ける

カメラの撮影方向、画角やフォーカスの調節を行うため、本機の [MONITOR OUT] 端子をテストモニターに接続します。

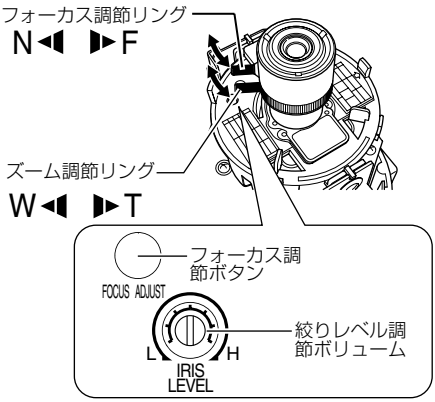


メモ:

- 電源を供給するため、カメラコントロールユニット（CCU) または AC アダプターの電源を入れておく必要があります。
- 接続に使用できるケーブルの長さは、最長 5m までです

画角・フォーカス・明るさを調節する

画角、フォーカスの調節、明るさの調節などを行います。



■ 画角の調節

ズーム調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かし画像サイズを調節します。

■ フォーカスの調節

フォーカス調節ボタンを押します。約 30 秒間絞りが開放状態となりますので、フォーカス調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かしフォーカスを合わせます。

メモ:

- 「画角の調節」と「フォーカスの調節」を 2 ～ 3 回繰り返し、設定してください。
  調節が終了したら、各固定ねじをしめて固定します。
- フォーカス調節ボタンを押すと、電子シャッターが自動的にはたらくため、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。

■ 明るさの調節

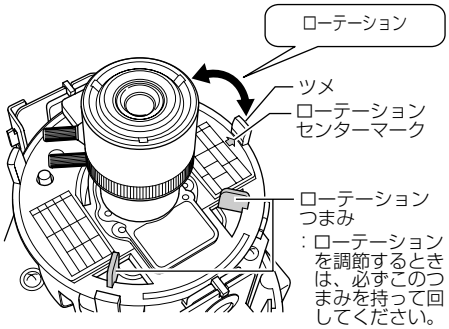
通常は調節する必要はありませんが、必要に応じて絞りレベルを調節ボリュームで明るさを調節します。

暗くするとき　　：反時計方向（L 側）
明るくするとき　：時計方向（H 側）

カメラを調節する（つづき）

ローテーションの調節

カメラ本体はローテーションの調節ができるようになっています。必要に応じて調節してください。



メモ:

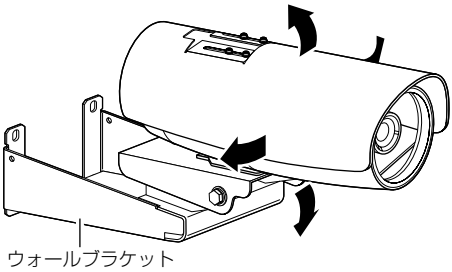
- 本機は、工場出荷時に画角が合うように調節されています。ローテションを調節する場合は、レンズ部を持たず、必ずローテーションつまみを持ち調節してください。
- ローテーションセンターマークと、上図のツメが合った位置が出荷位置です。

ご注意:

- 画角を調節する前に、本体側面の [MONITOR OUT] 端子近くにある金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。
- 調節範囲を超えてカメラを動かすと、本機の性能が維持できなくなる場合があります。
- カメラの方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると破損する場合があります。

カメラの角度を調節する

ウォールブラケットをご使用の場合、ウォールブラケットの台を回転させてカメラの角度を調節してください。



ご注意:

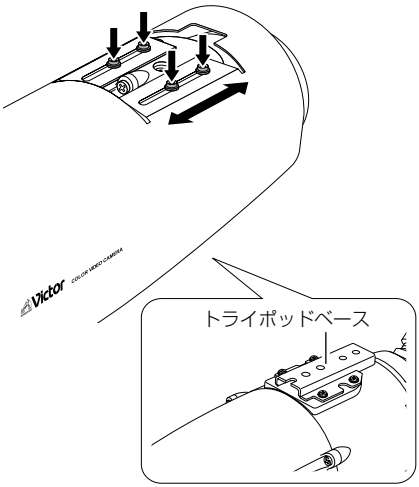
- レンズを太陽などの強い光源に向けないでください。本機内部が破損し故障や火災の原因になります。
- 照明が直接本機に当たるような場所に設置したり、照明の熱が影響するような場所に設置しないでください。

サンシェードを調節する

1. サンシェード固定ねじ（4 本）をゆるめる

2. サンシェード調節穴を前後に動かして、位置を調節する

3. 調節後、サンシェード固定ねじを締め付け固定する



メモ:

- トライポッドベースを上部に取り付けると、サンシェードの可動範囲がせまくなります。

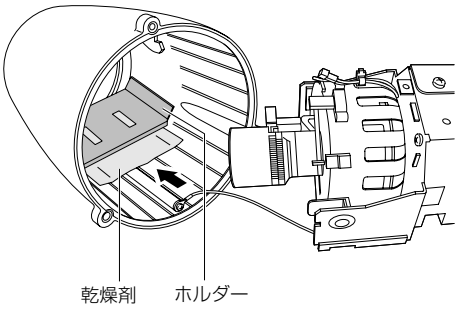
カバーを取り付ける

乾燥剤を入れる

ガラスくもりを防ぐために、フロントカバーの中に添付の乾燥剤を入れます。

1. **アルミパックから乾燥剤を取り出す**

2. **下図のように、ホルダーの下に乾燥剤を入れる**



メモ:

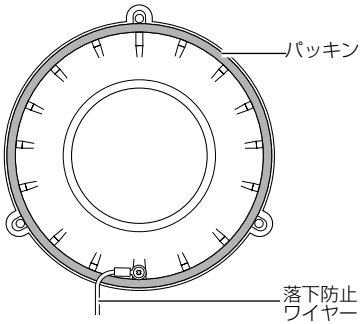
- 修理やメンテナンスで接続・設定を再度行う場合は、乾燥剤を必ず交換してください。交換する場合は、ビクターサービスセンターへお問い合わせください。

カバーを取り付ける

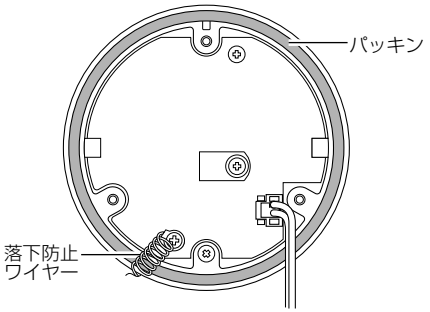
“ カバーをはずす ” (☞16 ページ) を参考に、フロントカバー、リアカバーを取り付けてください。

ご注意:

- 雨天時の設置作業は、雨滴が内部に入らないよう十分にご注意ください。
- フロントカバーを取り付ける際には、落下防止ワイヤーをはさみ込まないように注意してください。
- フロントカバーを取り付ける際には、3 か所のねじを仮止め後、増し締めを行なってください。
  ねじの締め付けは、0.5N・m ～ 1N・m (5 kgf・cm ～ 10 kgf・cm) をめやすにしてください。
- リヤカバーを取り付ける際には、接続したケーブルや落下防止ワイヤーをはさみ込まないように注意してください。
- カバーを取り付ける際には、カバーの周りのパッキンがずれてはさみ込まれないようにご注意ください。



＜フロントカバー＞



＜リアカバー＞

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
● レンズ組み立て ● 撮像素子（CCD）	一年保証のみ
乾燥剤	—

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	: カラービデオカメラ
品番	: TK-S810
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状況をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

カメラ部

テレビジョン方式 ：NTSC 方式準拠
撮像素子 ：1/4 型インターライン転送方式 CCD
768（H）× 494（H）
カラー撮像方式 ：単板色差線順次方式
同期方式 ：多重 C.Sync 方式
走査周波数 ：水平 15.734 kHz、垂直 59.94 Hz
CCU 出力 ：VB 0.85 V(p-p)、75 Ω、BNC
モニター出力 ：VBS 1.0 V(p-p)、75 Ω、ピンジャック
映像 S/N ：50 dB（AGC OFF、ウエイト付、白 50 %出力）
水平解像度 ：540TV 本（標準）
最低被写体照度
カラー映像 ：2.3 lx （標準、AGC ON、50 IRE、WIDE 端）
1.2 lx （標準、AGC ON、25 IRE、WIDE 端）
白黒映像 ：1.6 lx（標準、AGC ON、50 IRE、WIDE 端）
0.8 lx（標準、AGC ON、25 IRE、WIDE 端）
ホワイトバランス ：ATW（自動追尾）/AWB（自動調整）（スイッチ切換）
電子シャッター ：1/60 秒（標準）
1/100 秒（50 Hz 照明フリッカーレス）
逆光補正 ：ON/OFF（スイッチ切換）
簡易 DAY&NIGHT ：ON/OFF（スイッチ切換）

レンズ部

ズーム比 ：約 3.6 倍
焦点距離 ：2.8 mm ～ 10 mm（可変）
最大口径比 ：F 1.3 (f = 2.8 mm)
F 3.0（f = 10 mm）
最小絞り値 ：F 360 相当
包括角度 ：f = 2.8 mm の時
73 °(H) × 54 °(V)
：f = 10 mm の時
20 °(H) × 15 °(V)

総合

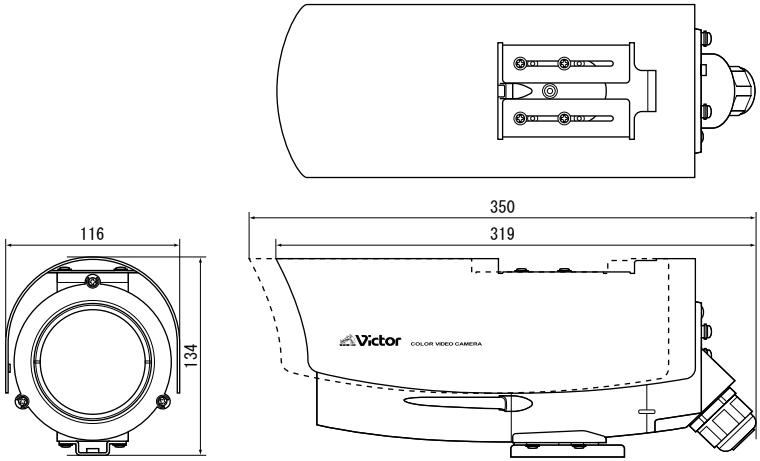
適合 CCU ：TK-U1801、TK-F600B
TK-D700、TK-U1402、TK-U1403、TK-U1003、TK-U1004、TK-U1005、TK-W400、TK-W410
電源 ：DC12V または CCU から供給
消費電流 ：210 mA(CCU 時最大)
270mA(DC12V 時最大)
質量 ：1.8 kg
周囲温度 ：–10 ℃ ～ 50 ℃（動作）、0 ℃ ～ 40 ℃（推奨）
オプションファンユニット（別売）
：KA-ZF850

添付物・付属品

：取扱説説明書 1
保証書 1
ビクターサービス窓口総合案内..... 1
乾燥剤 1
1/4-20UNC 六角ボルト....2
バネ座金.....2
平座金 2
シールピン.....2

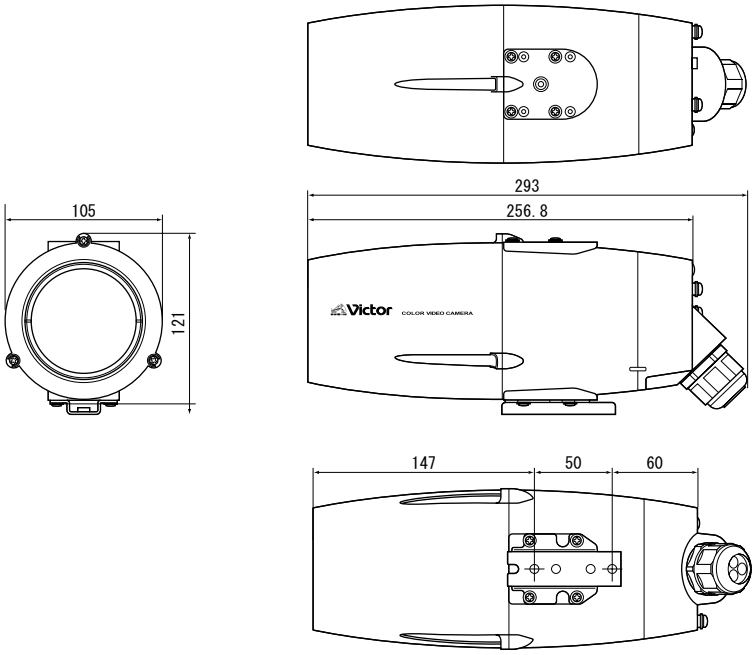
外形寸法図 [単位：mm]

■ サンシェードあり



- - - : サンシェードを最前に引き出した場合

■ サンシェードなし



※ 本機ならびに関連商品の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

TK-S810
カラービデオカメラ

お客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町 2969-2　電話(0426)60-7203

© 2006 Victor Company of Japan, Limited

LST0363-001A